

＜同朋大学のカリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）＞

建学の精神と教育目的を踏まえ、ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）を達成するために、どのように教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するかについて、本学としての基本的な方針を次のように定めます。

1. 徹底した少人数教育を教育・指導の根本にすえ、一人ひとりの学生にあったきめ細やかな指導をする。
2. 少人数教育の利点を活かして、1年次よりゼミ形式の授業を行い、ノートの取り方やレポートの書き方、図書館の利用法など学修面での基本的姿勢や主体的に学ぶ姿勢を身につける。
3. 学科・専攻にかかわらず建学の精神、豊かな教養的知識、学びのスキルを修得する『教養共通科目』と、各学科・専攻にかかる専門知識・技能を学び専門性を深める『学科専攻科目』から編成する。
4. 教養共通科目は、「宗教」「外国語」「キャリア教育」「教養」「総合」「スポーツ」「情報」「国際」「ボランティア」「インターンシップ」「傾聴」等の区分を設け、幅広い授業科目から編成する。
5. 自分の学びたい分野を1年次から学べる教育課程を編成し、早くから専門分野の学びに触れる。学科専攻科目は、1年次から4年次まで導入的・原理的な科目から発展的・総合的なものまで、各学科・各専攻別に編成し、履修セメスターを指定して段階的に専門性を深めることができるように設定する。
6. 知識や理論を学ぶことに加えて、実習・演習・学外での研修を重視した教育課程で実践力を養う。経験と省察を重視したアクティブ・ラーニングの要素を多く取り入れるようにし、学びを深め、学びを豊かに展開できるようにする。
7. シラバスやナンバリング等により、授業の到達目標や成績評価基準、教育課程全体の中での位置・意義を理解しやすいようにし、学生自らが学びの内容を組み立てるのを支援する。